



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 平河ヒューテック株式会社

コード番号 5821 URL <http://www.hewtech.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役 執行役員社長

(氏名) 篠 祐一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 星 一昭

TEL 03-5493-1711

四半期報告書提出予定日 平成28年11月7日

配当支払開始予定日

平成28年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	12,124	△13.1	1,455	36.0	1,432	33.3	1,121	57.0
28年3月期第2四半期	13,954	18.5	1,069	114.0	1,074	77.9	714	89.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 153百万円 (△72.5%) 28年3月期第2四半期 558百万円 (△42.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	79.87	—
28年3月期第2四半期	50.88	—

(注) 平成28年2月4日付けで普通株式1株につき2株の割合に株式分割を行っております。平成28年3月期第2四半期の1株当たり四半期純利益については、連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	28,175	19,868	70.5	1,414.35
28年3月期	29,113	19,840	68.2	1,412.40

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 19,868百万円 28年3月期 19,840百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	11.00	—	9.00	—
29年3月期	—	6.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	9.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成28年2月4日付けで普通株式1株につき2株の割合に株式分割を行っております。平成28年3月期の第2四半期末配当金については、株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,100	0.5	2,400	1.4	2,400	1.2	1,660	7.7	118.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	17,627,800 株	28年3月期	17,627,800 株
29年3月期2Q	3,580,160 株	28年3月期	3,580,160 株
29年3月期2Q	14,047,640 株	28年3月期2Q	14,047,774 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)平成28年2月4日付けで普通株式1株につき2株の割合に株式分割を行っております。平成28年3月期2Qの株式数は、連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善に足踏みがみられ、個人消費が停滞するなど弱さもみられましたが、雇用・所得環境の改善などにより、緩やかな回復基調が続きました。

海外経済は、アジア経済については中国を中心にアジア全体で景気が減速しました。一方、米国では企業部門の一部に弱めの動きも見られたものの個人消費を中心に堅調に推移しました。欧州は英国のEU離脱問題に伴う不透明感が高まりましたが、全体的に緩やかに回復しました。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、カーエレクトロニクス市場は堅調に推移しましたが情報通信機器市場は弱含みで推移しました。

このような環境の下、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は為替の円高等の影響があり121億24百万円(前年同期比13.1%減)となりました。生産性の改善及び原材料価格の低下等により営業利益は14億55百万円(同36.0%増)、経常利益は14億32百万円(同33.3%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は11億21百万円(同57.0%増)となりました。

主なセグメント別の業績は、次のとおりです。

(電線・加工品)

エネルギー産業関連ケーブル及びデジタル機器用ケーブルの売上は減少となりましたが、車載用ケーブル等の売上は好調に推移したことにより、売上高は98億9百万円(前年同期比16.6%減)となりました。生産性の改善及び原材料価格の低下等により、セグメント利益は14億7百万円(同32.6%増)となりました。

(電子・医療部品)

医療用特殊チューブ、ネットワーク機器及び放送機器の売上は好調に推移しましたが、エネルギー産業関連デバイスの売上が減少したことにより、売上高は22億39百万円(前年同期比5.7%増)となりました。売上高の増加及び生産性の改善等により、セグメント利益は2億90百万円(同25.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ9億38百万円減少し、281億75百万円となりました。主な減少は、「受取手形及び売掛金」が6億1百万円、「機械装置及び運搬具(純額)」が3億25百万円、「商品及び製品」が2億84百万円減少し、主な増加は、「投資その他の資産」の投資有価証券が3億8百万円増加しました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ9億65百万円減少し、83億6百万円となりました。主な減少は、「支払手形及び買掛金」が6億25百万円、「長期借入金」が3億65百万円減少し、主な増加は、「未払法人税等」が1億45百万円増加しました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ27百万円増加し、198億68百万円となりました。主な増加は、「利益剰余金」が9億95百万円、「その他有価証券評価差額金」が1億35百万円増加し、主な減少は、「為替換算調整勘定」が10億73百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月9日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,723	5,022
受取手形及び売掛金	7,643	7,041
有価証券	124	198
商品及び製品	1,978	1,694
仕掛品	786	694
原材料及び貯蔵品	2,002	1,920
繰延税金資産	137	182
その他	427	431
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	17,821	17,183
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,266	3,011
機械装置及び運搬具(純額)	2,588	2,262
土地	2,549	2,543
その他(純額)	442	458
有形固定資産合計	8,846	8,275
無形固定資産	186	181
投資その他の資産	2,257	2,533
固定資産合計	11,291	10,991
資産合計	29,113	28,175

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,634	2,008
短期借入金	1,606	1,466
未払法人税等	192	337
賞与引当金	51	151
その他	1,007	892
流動負債合計	5,492	4,857
固定負債		
長期借入金	1,713	1,347
退職給付に係る負債	1,856	1,885
役員退職慰労引当金	42	43
その他	166	172
固定負債合計	3,779	3,449
負債合計	9,272	8,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,555	1,555
資本剰余金	1,459	1,459
利益剰余金	17,755	18,751
自己株式	△2,339	△2,339
株主資本合計	18,429	19,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	191	326
繰延ヘッジ損益	—	△40
為替換算調整勘定	1,236	163
退職給付に係る調整累計額	△16	△7
その他の包括利益累計額合計	1,410	442
純資産合計	19,840	19,868
負債純資産合計	29,113	28,175

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	13,954	12,124
売上原価	11,075	8,901
売上総利益	2,879	3,222
販売費及び一般管理費	1,809	1,767
営業利益	1,069	1,455
営業外収益		
受取利息	17	8
受取配当金	9	9
その他	20	23
営業外収益合計	47	41
営業外費用		
支払利息	8	5
為替差損	26	52
その他	8	5
営業外費用合計	42	64
経常利益	1,074	1,432
特別利益		
固定資産売却益	98	—
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	99	—
特別損失		
投資有価証券評価損	26	—
災害による損失	50	—
保険解約損	—	0
事業構造改善費用	72	—
特別損失合計	149	0
税金等調整前四半期純利益	1,023	1,431
法人税、住民税及び事業税	402	360
法人税等調整額	△93	△50
法人税等合計	308	309
四半期純利益	714	1,121
親会社株主に帰属する四半期純利益	714	1,121

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	714	1,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55	135
繰延ヘッジ損益	△4	△40
為替換算調整勘定	△107	△1,073
退職給付に係る調整額	10	9
その他の包括利益合計	△156	△968
四半期包括利益	558	153
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	558	153
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,760	2,118	13,879	75	13,954	—	13,954
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	3	24	—	24	△24	—
計	11,781	2,122	13,904	75	13,979	△24	13,954
セグメント利益	1,061	232	1,293	49	1,342	△273	1,069

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2億73百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2億73百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,809	2,239	12,049	74	12,124	—	12,124
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	5	6	—	6	△6	—
計	9,811	2,245	12,056	74	12,131	△6	12,124
セグメント利益	1,407	290	1,697	45	1,742	△287	1,455

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2億87百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2億87百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。